

# News Release

2020年3月26日  
NITE（ナイト）  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
製品安全センター（東京）

## ガス供給器具の事故にご注意ください ～関東甲信越における事故を中心に～

### 1. 関東甲信越地方のガス供給器具の事故

#### （1）年度別事故発生件数と被害状況

ガス栓、ソケット及びゴム管・ガスコード（以下「ガス供給器具」という。）の誤使用や不注意による事故が毎年発生しています。2009年度から2018年度までの10年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報<sup>※1</sup>において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で発生したガス供給器具による事故は計252件<sup>※2</sup>ありました。ガス供給器具による事故について、関東甲信越地方の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3、誤使用や不注意による事故の事故事象別事故発生件数を表4に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

表1. 年度別事故発生件数

	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
2009年度				4	3	6	1				14
(内数)火災事故				(2)	(1)						(3)
2010年度		1	4	7	4	17			2		35
(内数)火災事故			(1)		(2)	(1)			(1)		(5)
2011年度			3	4	3	15			2		27
(内数)火災事故				(1)	(1)	(6)			(2)		(10)
2012年度	1		2	2	8	10			2	1	26
(内数)火災事故					(1)	(1)				(1)	(3)
2013年度		3	2	4	4	16					29
(内数)火災事故		(2)	(1)	(1)	(2)	(1)					(7)
2014年度		1	6	7		15	1		1		31
(内数)火災事故						(1)	(1)		(1)		(3)
2015年度	1			5	1	12	1		2		22
(内数)火災事故	(1)					(2)			(1)		(4)
2016年度		1	2	4	1	11		1	1		21
(内数)火災事故			(1)			(1)					(2)
2017年度	1		1	4	1	16		1			24
(内数)火災事故						(2)					(2)
2018年度			2	6	2	12		1			23
(内数)火災事故				(2)		(4)					(6)
合計	3	6	22	47	27	130	3	3	10	1	252
(内数)火災事故	(1)	(2)	(3)	(6)	(7)	(19)	(1)	(0)	(5)	(1)	(45)

表 2. 被害状況別事故発生件数<sup>※3</sup>

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計	
被害状況	人的被害	死亡										0	
		重傷					1					1	
		軽傷			2	4	3	1			1	1	12
	物的被害	拡大被害	1	3	10	26	19	74	3	2	6		144
		製品破損	2	2	9	17	5	54		1	3		93
		被害なし		1	1								2
合計		3	6	22	47	27	130	3	3	10	1	252	

※3 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表 3. 原因区別別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの			1	1		1					3
	B 製品および使い方に問題があったもの											0
	C 経年劣化によるもの			1	2		4					7
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの											0
	小計	0	0	2	3	0	5	0	0	0	0	10
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの			1	3	1	2					7
	E 誤使用や不注意によるもの	2	4	13	28	10	87	1	2	4	1	152
	F その他製品に起因しないもの	1			4	4	10			1		20
	小計	3	4	14	35	15	99	1	2	5	1	179
その他	G 原因不明のもの		2	6	8	12	25	2	1	5		61
	H 調査中のもの				1		1					2
	小計	0	2	6	9	12	26	2	1	5	0	63
合計		3	6	22	47	27	130	3	3	10	1	252

表 4. 誤使用や不注意による事故の事故事象別事故発生件数

事故発生状況	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
ガス供給器具が接続不良となり、ガス漏れし引火	1	1	6	15	5	56		1			85
未使用栓の誤開放により、ガス漏れし引火	1	3	7	10	3	24	1	1	4		54
ガス機器などによる熱影響や炎で、ガス供給器具の劣化や損傷が起き、ガス漏れし引火				3	1	5					9
その他					1	2				1	4
合計	2	4	13	28	10	87	1	2	4	1	152

(2) 関東甲信越地方において発生したガス供給器具の事故事例

① 未使用栓の誤開放による事故

- ・ 2018年12月、埼玉県、拡大被害

(事故内容)

ガスこんろを点火したところ、ガス栓付近から火が出て、周辺を焼損した。

(事故原因)

被害者が2口ガス栓の機器未接続側を誤開放した状態で、ガスこんろを使用したため、漏洩したガスに引火して、周辺を焼損したものと推定される。

② ソケットの接続不良による事故

- ・ 2018年12月、東京都、拡大被害

(事故内容)

ガラストーブを使用したところ、ソケット付近から火が出て、ストーブの一部が焦げた。

(事故原因)

ソケットをガラストーブに接続した際の挿入が不十分であったため、接続箇所からガスが漏洩し、ガラストーブの炎が漏洩したガスに引火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ガス機器側ホースエンドとの接続は赤線が隠れるまで十分に差し込む。」旨、記載されている。

③ ガスこんろの熱影響による事故

- ・ 2019年3月、東京都、製品破損

(事故内容)

ガスこんろを使用中、ソケット付近から火が出た。

(事故原因)

ソケットに一口ガスこんろが近接した状態で使用されていたため、こんろ上のフライパンの底を伝ったこんろバーナーの熱により、ソケットが焼損してガスが漏洩し、滞留したガスにこんろバーナーの炎が引火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「高温（50℃以上）になる場所では使用しない。」旨、記載されている。

## 2. ガス供給器具の事故の再現実験映像について

以下の映像をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

### (1) 実験映像内容

- ① ゴム管の差込不足による火災 (2. (2) 写真1)
- ② ゴム管の劣化亀裂による火災 (2. (2) 写真2)

### (そのほか)

- ③ 専用ホースを使用せずに接続し発火 (ガストーブ)

### (2) 実験映像例

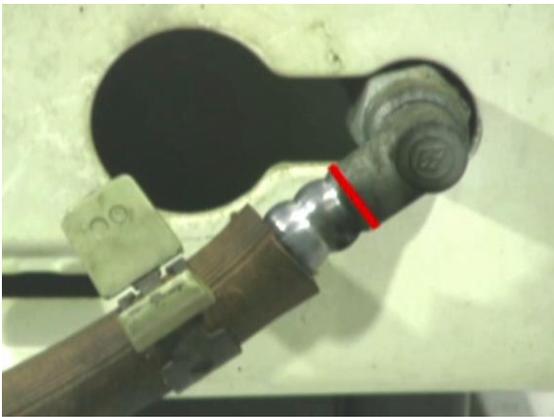


写真1. ゴム管の差込不足による火災



写真2. ゴム管の劣化亀裂による火災

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 技術業務課

担当者：松本（まつもと）、長谷川（はせがわ）、佐藤（さとう）

電話：03-3481-1820